

ASEAN共同体(AC) 加盟10カ国の概要と政府首脳

〔ASEAN基本データ〕

【人口】約6億2,000万人(≒世界の9%) 【GDP】約2.5兆ドル(≒世界の3%) 【面積】約448万平方キロ(≒世界の3.3%)

《ラオス》

〔2016年ASEAN議長国〕

【人口】689万人 【GDP】117億ドル 【GDP/人】1,693ドル 【面積】23万6,800平方キロ(≒日本の本州) 【政体】人民民主共和制/一党独裁

■首相 Prime Minister

トンシン・タンマヴォン Thongsing Thammavong



2010年12月から現職(首相)。今月(2016年1月)末に予定されている「ラオス人民革命党(LPRP)」の第10回党大会での党指導部交代に伴い党書記長に転任(昇格)するとの観測が出ている(チュンマリ・サイニャソーン国家主席兼党書記長の引退はほぼ確実。ブンニャン・ヴォラチット国家副主席が新しい国家主席に昇格し、トンシン新書記長との間で国家・党のトップを分担する体制に転換する可能性がある)。

*新首相には、トーンルン・シースリット(Thongloun Sisoulith)現副首相兼外相が昇格するとの見方がビエンチャンの外交筋では有力視されている(ただ、党大会での指導部人事には未だ不確定要素が多い)。ラオスは、ASEAN共同体(AC)の発足1年目となる今年はASEAN議長国を務めるため、新首相(就任は4月以降との予測)が首脳級会合の共同文書や議長声明を取り仕切ることになる。

▼データ：【政党】ラオス人民革命党(LPRP)：政治局員(序列2位)【年齢】71歳(1944年4月12日生まれ)【生地】(北部)フアパン県【学歴】高等政治理論学校卒【経歴】[1963年]中学校校長/[76年]教育省組織局長/[82年]LPRP中央委員/[83年]情報・文化相/[86年]LPRP政治局員/[89年]最高人民議会副議長/[92年]LPRP中央組織委員会委員長/[2001年]ビエンチャン特別市市長/[06年]第6期国民会議議長/[2010年12月23日](第6期第10回国会)首相に選出/[11年6月15日]首相に再任(一現在)【家族】ブアトーン(Buathone)夫人と6男2女。

《フィリピン》

〔2017年ASEAN議長国〕

【人口】1億10万人 【GDP】2,849億ドル 【GDP/人】2,865ドル 【面積】30万平方キロ(≒日本の80%) 【政体】共和制/大統領制

■大統領 President

ベニグノ・アキノ 3世 Benigno Aquino III



2010年6月から現職(大統領)。憲法の規定で大統領(任期：6年)は再選禁止であるため、今年5月に予定されている大統領選挙の当選者が新大統領に正式就任する6月で退任となる。

*マルコス政権期に暗殺されたニノイ・アキノ元上院議員とフィリピンの民主主義復活の象徴とされた故コラソン・アキノ元大統領の長男。

▼データ：【政党】自由党(LP)【年齢】55歳(1960年2月8日生まれ)【生地】マニラ市【学歴】アテネオ大学経済学部卒【経歴】[1981年]家族と米ボストンで亡命生活(一83年)/[84年]実業家(警備会社副社長、ルイシタ大農園管理者などを歴任)/[98年]下院議員3期(タルラック州第2区)/[07年]上院議員/[10年5月10日]大統領選で当選、[6月30日]大統領就任(一現在)【家族】独身

《タイ》

【人口】6,722万人 【GDP】3,738億ドル 【GDP/人】5,445ドル 【面積】51万3,120平方キロ(≒日本の1.4倍) 【政体】立憲君主制/議院内閣制

■首相 Prime Minister

プラユット・チャンオーチャー(退役大将) Gen Prayuth Chan-ocha



陸軍司令官だった2014年5月、軍事クーデターを主導、タクシン元首相派政党「タイ貢献党(PT)」率いる連立政権を打倒し、現軍事政権の最高決定機関「国家平和秩序評議会(NCPO)」の議長に就任。同8月、暫定議会の指名で暫定首相。

*NCPOは、総選挙を経た民政復帰(新政府の樹立)は2017年7月になるとの政治日程を示しており、それまでは(プラユット氏が)暫定首相に留まる見込み。

▼データ：【年齢】61歳(1954年3月21日生まれ)【生地】(東北部)ナコンラーチャシマ県【学歴】チュラチョムクラオ陸軍士官学校卒【経歴】[1976年]陸軍入隊/各部隊の要職歴任/第2歩兵師団長/第1軍管区(首都圏・中部)司令官/[2008年]陸軍参謀長/[09年]陸軍副司令官/[10年]陸軍司令官(一14年9月)/[14年5月22日]軍事クーデターを主導、[5月26日]NCPO議長(一現在)、[8月25日]首相(一現在)【家族】ナラポン(Naraporn)夫人との間に2女(双子)。

《マレーシア》

【人口】3,019万人 【GDP】3,269億ドル 【GDP/人】1万804ドル 【面積】32万9,847平方キロ(≒日本の90%) 【政体】立憲君主制/議院内閣制

■首相兼第一財務相 Prime Minister & Minister of Finance I

ナジブ・ラザク Dato'Sri Mohd Najib Razak



2009年4月にアブドゥラ・バダウィ前首相から政権を禅譲され現職(首相兼第一財務相)。13年5月の総選挙で勝利し現在は第2次政権(次期総選挙は2018年の予定)。

*故ラザク第2代首相の長男。故フセイン・オン第3代首相の甥。

▼データ：【政党】統一マレー国民組織(UMNO)：総裁【年齢】62歳(1953年7月23日生まれ)【生地】パハン州【学歴】(英)ノッティンガム大学卒【経歴】[1974年]国営石油会社「ペトロナス」渉外担当/[76年]下院議員に初当選/[78年]副エネルギー・通信・郵政相、副教育相、副財務相を歴任/[82年]パハン州首席相/[86年]青年スポーツ相/[90年]国防相/[95年]教育相/[99年]国防相/[2004年]副首相兼国防相/[08年9月]副首相兼財務相/[09年4月3日]首相兼第一財務相/[13年5月6日](第2次)首相(第一財務相兼任)に再任(一現在)【家族】ロスマ(Datin Sri Rosmah Mansor)夫人と子供5人。

《シンガポール》

【人口】547万人 【GDP】3,081億ドル 【GDP/人】5万6,319ドル 【面積】718平方キロ(≒東京23区) 【政体】共和制/議員内閣制

■首相 Prime Minister

リー・シェンロン Lee Hsien Loong



ゴー・チョクトン前首相から政権を禅譲され、2004年8月から第3代首相。15年9月総選挙での単独与党「人民行動党(PAP)」の圧勝を受け第4次政権を発足させたばかり。

*「建国の父」である故リー・クアンユー元首相(15年3月23日死去)の長男。

▼データ：【政党】人民行動党(PAP)：書記長【年齢】63歳(1952年2

月10日生まれ【生地】シンガポール【学歴】(英)ケンブリッジ大学卒(コンピューター工学)/(米)ハーバード大学行政学修士【経歴】[1971年]シンガポール国軍入隊/国軍の要職を歴任/[82年]統合幕僚長/[84年]退役(准将)、[12月]国会議員に初当選(一現在:8期目)、国務相(通産・国防)/[87年]通産相兼第二国防相/[90年]副首相兼通産相/[93年]副首相/[2001年11月]副首相兼財務相/[04年8月]首相兼財務相/[07年12月]首相(財務相兼任解消)/[15年9月28日](第4次)首相に再任(一現在)【家族】ホー・チン(Ho Ching)夫人(政府系投資会社「テマセク・ホールディング」社最高経営責任者〔CEO〕)と3男1女。

《ブルネイ》

【人口】42万人【GDP】151億ドル【GDP/人】3万6,607ドル【面積】5,769平方キロ(≒三重県)【政体】立憲君主制(国王に権力集中)

■国王 Sultan and Yang Di-Pertuan

首相兼財務相兼国防相兼外交交通商相

Prime Minister & Minister of Finance & Minister of Defence & Minister of Foreign Affairs and Trade

ハサナル・ボルキア HM Hasaanal Bolkiah



1984年のブルネイ・ダルサラーム国の完全独立で国王となり、首相にも就任。2015年10月の内閣改造で新たに外交交通商相のポストも兼任し現職(首相兼財務相兼国防相兼外交交通商相)。

*現内閣の任期は2020年までの5年間。

▼データ:【年齢】69歳(1946年7月15日生まれ)【生地】バンドルスリブガワン【学歴】英国陸軍士官学校(サンドハースト)卒【経歴】[1961年]英保護領ブルネイ皇太子/[67年10月5日](前スルタン退位により)第29代スルタンに即位/[68年8月1日]戴冠式/[84年1月1日]独立で国王(首相兼財務相兼内相)/[86年10月]首相兼国防相/[97年2月]首相兼国防相兼財務相/[2015年10月22日]首相・財務相・国防相・外交交通商相(一現在)【家族】夫人(サレハ王妃、アズリナ・マズハル第二王妃)と子供11人(5男6女)。

《インドネシア》

【人口】2億5,280万人【GDP】8,886億ドル【GDP/人】3,534ドル【面積】186万2,570平方キロ(≒日本の5倍)【政体】共和制/大統領制

■大統領 President

ジョコ・ウィドド Joko Widodo



2014年7月大統領選挙で当選し、10月に第7代大統領に就任(任期:一19年までの5年間)。

▼データ:【政党】闘争民主党(PDI-P):党员【年齢】54歳(1961年6月21日生まれ)【生地】中ジャワ州スラカルタ(ソロ)市【学歴】国立ガジャマダ大学林業学部卒【経歴】実業家(家具輸出業・不動産賃貸業:一2005年)/[1992年]商工会議所(Kadin)スラカルタ支部工業エネルギー部長(一96年)/[2002年]インドネシア家具手工芸品協会会長(一07年)/[05年7月]スラカルタ市長に当選(10年に再選:2期目途中で辞任)/[12年9月]ジャカルタ特別州知事に当選/[14年7月大統領選挙]当選、[10月20日]大統領に正式就任(一現在)【家族】イリアナ(Iriana)夫人と2男1女。

《ベトナム》

【人口】9,073万人【GDP】1,860億ドル【GDP/人】2,053ドル【面積】33万1,212平方キロ(≒九州を除いた日本)【政体】社会主義共和国/共産党一党独裁

■首相 Prime Minister

グエン・タンズン Nguyen Tan Dung



2006年6月から現職(首相:3期目)。今月(2016年1月)20日から28日までの日程で開催されるベトナム共産党(CPV)第12回党大会で新しい指導部を選出するが、同(ズン)氏の去就については(本稿執筆時点で)予測は困難。

▼データ:【政党】ベトナム共産党(CPV):政治局員(序

列3位)【年齢】66歳(1949年11月17日生まれ)【生地】(メコンデルタ地域)カマウ省【学歴】ハノイ法律大学卒/ホーチミン国家政治学院で研修(高度政治理論)【経歴】南ベトナム解放民族戦線(ベトコン)に参加/キエンザン省ハーティエン県党書記/[1990年]同省人民委員長兼党副書記/[91年](第6回党大会)中央委員/[95年]内務次官/[96年7月](第7回党大会)政治局員(政治局常務委員)/[97年9月]第一副首相/[2006年6月27日](第11期第9回国会)首相に選任(07年7月と11年7月に再任:一現在)【家族】チャン・タイン・キエム(Tran Thanh Kiem)夫人と2男1女。

《カンボジア》

【人口】1,541万人【GDP】166億ドル【GDP/人】1,081ドル【面積】18万1,035平方キロ(≒日本の半分)【政体】立憲君主制/議院内閣制

■首相 Prime Minister

フン・セン Hun Sen



旧プノンペン政権の首相時代や暫定政権の共同首相、(現カンボジア王国)第二首相の時代を含めると30年間にわたって首相職を務めている。1998年11月からの現職(「単独首相」)は2013年9月で4期目に入った(同〔フン・セン〕氏は、次期総選挙は18年7月に実施と発表)。

*2015年6月8日にチア・シム上院議長(当時)が死去(享年82歳)したことに伴い、同20日に(同議長が24年間務めていた)「カンボジア人民党(CPP)」議長(党首)の後任に就任(副議長から昇格)。

▼データ:【政党】カンボジア人民党(CPP):議長【年齢】64歳(1951年4月4日生まれ)【生地】コンボンチャム州【学歴】高校卒/グエン・アイ・コック越共産党学校政治学博士【経歴】[1970年](反ロン・ヌル闘争)王国民族連合政府(北京亡命政府)軍下級部隊隊長/[77年]ベトナムへ脱出し反ポル・ポト軍結成/[79年]プノンペン政権外相/[81年]同政権閣僚評議会副議長(副首相)/[85年]同議長(首相)/[90年]カンボジア最高国民評議会(SNC)メンバー/[93年7月](ラナリット殿下とともに)暫定政権共同首相、[9月]カンボジア王国第二首相/[98年11月]首相/[2004年7月15日]首相に再任/[08年9月25日]3期目/[13年9月24日]4期目(一現在)【家族】ブン・ラニー(Bun Rany)夫人との間に3男3女。

《ミャンマー》

【人口】5,372万人【GDP】628億ドル【GDP/人】1,221ドル【面積】67万6,600平方キロ(≒日本の1.8倍)【政体】共和制/大統領制

■大統領 President

テイン・セイン Thein Sein



2011年3月から現職。昨年(2015年)11月総選挙で野党「国民民主連盟(NLD:アウン・サン・スー・チー党首)」が圧勝し、今年3月にNLD主導の新政権が発足することに伴い、(テイン・セイン氏は)退任する。

* (現行憲法の規定により大統領就任資格がない)スー・チー氏が誰を大統領に「推戴」するのは(本稿執筆時点では)予測がつかない。

▼データ:【年齢】70歳(1945年5月11日生まれ)【生地】(英領ビルマ)エーヤワディ【学歴】国軍士官学校(DSA)卒(理学士)【経歴】[1967年]国軍入隊(少尉に任官)後、陸軍各部隊で勤務/[90年]国防省主任参謀/[95年]第4作戦統制司令部司令官/[97年]三角地帯軍管区司令官、[11月]国家平和発展評議会(SPDC)委員/[2001年]国防省軍務総局長(一08年)/[03年8月]SPDC第二書記/[04年10月]同第一書記/[07年10月]首相/[08年]大将に昇進/[10年4月]退役、[4月29日]連邦団結発展党(USDP)創設メンバー・党首、[11月7日]総選挙 国民代表院(下院)議員に当選/[11年2月4日]連邦議会が大統領に選出、[3月30日]大統領に就任(一現在)【家族】キン・キン・ウィン(Daw Khin Khin Win)夫人との間に3子。

(アジア・リンケージ 勝田 悟)